

平成26年度教育課程について

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

ふるさと松梅を担う心身共に調和のとれた子どもの育成	
学校スローガン 「小さな学校 大きな未来」	
□めざす学校像	<ul style="list-style-type: none">○ 生き生きと学ぶ、創意豊かな学校○ 自尊感情を育み、豊かな情操を身につける学校○ 地域に根ざし、地域とともに歩む学校
□めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none">○ 確かな学力を身につけた子○ 豊かな心を持つ子○ 健康な体を育む子
□めざす教師像	<ul style="list-style-type: none">○ とともに力を出し合い、使命感に徹し、教育愛にあふれた教師○ 自らを高め、高い見識を備え、研究心旺盛な教師○ とともに汗を流し、子ども・保護者・地域社会の期待と信頼に応える教師

(2) 目標を達成するための基本方針

<ol style="list-style-type: none">1 小中一貫教育による教育活動を通して、基礎・基本を定着させ、活用力を含めた学力向上を図る。また、小中職員の合同研修会等を通し、教師の指導力を高め、資質向上を目指す。2 小中合同の体験活動や行事、道徳の授業等を通し、豊かな人間性を育成する。3 健康で安全な生活ができる能力を育成するとともに、地域防災の意識を高める。4 学校情報を積極的に発信し、育友会、地域との連携を深め、信頼される開かれた学校づくりを推進する。
--

2 本校の教育の特色

<ol style="list-style-type: none">1 確かな学びと豊かな心の育成<ul style="list-style-type: none">○ 小中の連続性を意識した授業実践○ 9年間を見通したカリキュラムの実践化○ 学習指導、生徒指導の「学び」と「育ち」をつなぐ教育の充実○ 少人数指導を生かした一人一人の生徒の個性・能力の伸長2 開かれた学校づくりの推進<ul style="list-style-type: none">○ 教育目標や教育活動理解のため、地域・保護者に向けた学校だよりの発行○ フリー参観デー等による小中一貫教育の公開○ 地域・育友会との合同行事の充実○ 学校評価及び学校関係者評価の活用○ ホームページによる情報公開○ 「松梅の教育を考える会」を核としたコミュニティースクールの検証3 豊かな自然環境を生かした体験活動の推進<ol style="list-style-type: none">(1) 児童館・小学部・中学部・地域合同行事<ul style="list-style-type: none">○ 合同体育祭(2) 児童館・小学部・中学部合同行事<ul style="list-style-type: none">○ 農業体験活動（芋苗植え、芋ほり）○ 親子ふれあい餅つき大会(3) 小中合同行事

- 交通安全教室
- 防災訓練
- 中学部から小学部への読み聞かせ
- あいさつ運動
- ボランティア活動
- 百人一首大会

3 教育計画

本年度の教育の重点

- 1 基礎学力の定着と活用力の育成
 - 少人数教育のメリットを生かし、すくすくテストの活用と個別指導の充実を図る。
 - 小中一貫教育を充実させ、全国・佐賀県学力状況調査を基に、小中合同の分析結果を踏まえ、学力の向上と教職員の資質向上に取り組む。
 - 指導法改善の視点を明確にした日々の授業改善と授業公開を行い、職員の意識・資質向上を図る。
 - ICT利活用（電子黒板等）教育の推進を図り、学力向上を目指した授業に取り組む。
 - 9年間の見通しを持って、一人一人の児童・生徒に適した進路指導の充実を図る。中学部では、キャリア教育の視点を明らかにした授業づくりを行う。
 - 実践的指導力に基づいた、学級経営案及び教科経営案の作成。
- 2 豊かな心の育成
 - 児童会・生徒会の主体的な体験活動や行事の充実を図り、社会性や思いやりの心を育成する。
 - 道徳の授業・ふれあい集会等を通し、豊かな人間性を育成する。
 - Q-Uテストを実施し、良好な人間関係を構築させ「いじめ」のない学級づくりに努める。
- 3 健康で安全な生活ができる能力の育成
 - 健康で安全な生活を送るための意識向上を目指し、防煙教室や薬物乱用防止教室、小中合同の交通安全教室や防災訓練・防災教育等を実施する。
 - 養護教諭、スクールカウンセラー等の専門性を生かした授業、部活動を通して、健康な体づくりの意識向上を図る。また、教育相談・食育・性教育の充実を図る。
- 4 特別支援教育の連携強化
 - 特別支援教育の視点を重要視した積極的な生徒指導を確立し、小中の育ちをつなぐ生徒指導を推進する。また、ユニバーサルデザインの視点に立った支援を行う。
 - 個人の支援計画に基づいた指導を推進する。
 - 市教育委員会、関係保護者、関係機関との連携を強化し、支援体制の充実を図る。
 - 特別支援コーディネーターを中心として、保護者、地域の方への啓発活動を推進する。